

FOODEX

日本市場の開拓へ

海外からの出展93か国・地域に

アジア最大級の国際食
品・飲料展「FOODEX
X JAPAN 2019」

（主催）日本能率協会ほ
か）が4日間にわたり千
葉・幕張メッセで開催さ
れた。出展

う出展社数や出展品目数
を増やすFOODEX常
連国・地域もあり、日本
での販路拡大にかける積
極姿勢を見せた。

た。出展
国・地域は93
で、前年に
比べて10か
国・地域増
加。中には
青果物を扱

たもの、その分1社当
前より出展社数を絞つ
た。韓国館には青果物の生
産企業や商社、メーカー
など約90社が出展した。

た。出展
国・地域は93
で、前年に
比べて10か
国・地域増
加。中には
青果物を扱

たもの、その分1社当
前より出展社数を絞つ
た。韓国館には青果物の生
産企業や商社、メーカー
など約90社が出展した。



韓国館では料理の実演・試食も



食品の表示機能
「唐辛子調糖」

様々な調理法に使用でき
る「ケーレッツ」



たりのブリスを広く確
保。今回はとくに生鮮青
果物を扱う企業を増やし
た。

韓国館の正面に、機能
性成分を多く含む野菜を
コーナー化し、「糖調唐
辛子」「高麗人参の新芽
などを紹介。糖調唐辛子
は果肉が黄緑色で厚みが
あり辛みが少ないのが特
徴。同トウガラシに多く
含まれる「ルテオリン」

には食後血糖値の上昇を
抑える働きがあることさ
れ、昨年日本の消費者庁
に機能性表示食品の申請
を行った。関係者は「他
の野菜についても機能性
表示食品の取組みを進め
たい」と意気込む。

台湾ではFOODEX
初日、ホテルにバイヤー
などを招いて商談会を開
催し、東京オリンピック
ク・パリンピックでの
食材の採用を目指してい
ることをPRした。

台湾、パレリオンには前
年より多い142社が出
展。このうち、台湾屏東
農業国際連鎖社は屏東県
産のバイナップル、バナ
ナ、新品種のナツメ、野
菜などを紹介。ナツメは
通常よりも大きくなる品
種で、ナシのようなみずみ
ずしさとリンゴのような
さわやかな食味を持つ。
「ナシとリンゴのシーズ
ンの間に供給できる」と、
日本での取扱い拡大に期
待する。

オーストラリアでもこ
の2〜3年、出品する農
産品の品目数が増えてい
るといふ。今回は、赤ケ
ールと芽キャベツをかけ
合わせた「ケーレッツ」、
フロッコリーとカイラン
を交配させた「フロッコ
リーニ」などが日本人バ
イヤーの注目を集めた。